

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で 診療を受けられた患者さんへ

～試料・情報の提供に関する情報公開について～

当院では、下記の研究または研究に類似する事業の意義に賛同し、当院で保管する試料（凍結血清や病理標本などの保存検体）や診療情報（以下、試料・情報）を提供しております。当院を含め、多くの医療機関が協力し合うことで、研究や事業の質が向上し、今後の医療の発展につながることを期待されます。

対象者に該当する可能性のある方で、試料・情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、外部への提供はしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究や事業の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究や事業の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

| | |
|----------------------|---|
| 研究または事業、調査等の名称 | 大腿骨近位部骨折全国調査 |
| 研究または事業、調査等の主体（学会名等） | 日本整形外科学会骨粗鬆症委員会 （担当理事：遠藤 直人、委員長：森 諭史） |
| 対象となる疾患名等 | 大腿骨近位部骨折 |
| 情報の利用目的 | 日本整形外科学会骨粗鬆症委員会では、1998年から大腿骨近位部（頸部・転子部）骨折の調査を行ってきました。このような全国規模での長期間にわたる調査は、国際的に見ても例がなく、国内でも社会的に高く評価されています。今後も、社会的貢献のひとつとして、この骨折調査を継続していく方針です。 |
| 提供するもの | <input type="checkbox"/> 試料（保存検体等） <input checked="" type="checkbox"/> 情報（診療情報等） |
| 提供するもの（詳細） | 転院例、性別、年齢、骨折日、初診日、手術日、骨折側、骨折部位、対側骨折、受傷場所、受傷原因、治療法、入院日、退院日 ※非定型大腿骨骨折の場合は以下 年齢、性別、骨折日、骨折側、骨折部位、骨折形態、治療法、受傷原因、骨折の状態（該当時）、薬剤の使用（該当時）、合併症（該当時） |
| 試料・情報の提供方法 | インターネット上の専用システムに必要項目を入力します。 |
| 個人情報の保護 | データは、氏名等の個人を直ちに特定できる情報とは切り離し、無関係な識別番号を付した状態で取り扱います。対象者個人と識別番号との対応表は院内で厳重に管理し、その照合は当院内でのみ可能となります。また、氏名等の個人を直ちに特定できる情報を外部に提供することはありません。 |
| 問い合わせ先 （当院での責任者） | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 整形外科 小林 和克 電話 052-832-1121（代表） |